

2015年 越後駒ヶ岳・中ノ岳春山合宿



小倉山から越後駒ヶ岳

記録 福澤 卓三

日 時 : 2015年5月3日(日)～6日(水)

メンバー : I福澤卓三、大和義孝、石川誠、鈴木輝明、河本喜照、稲福恵美子、富岡英俊

コースタイム :

5月3日(晴)

福澤車(大和・鈴木)埼京線板橋駅13:10－関越道入口13:40－谷川PAで河本車と合流
(16:00－16:20)－JR小出駅(17:10－18:30)－駒の湯駐車場(19:00)テント泊

5月4日(晴のち曇)

駒の湯駐車場～吊り橋(6:30)－小倉山(12:30－12:45)－駒の小屋(16:15)テント泊

5月5日(快晴)中ノ岳往復隊(福澤、鈴木、河本、富岡)(6:20)－駒ヶ岳(6:40)－中ノ岳
(11:30－12:00)－駒の小屋(16:50)テント泊

5月6日(快晴)

駒の小屋(6:30)－小倉山(8:15)－駒の湯(12:00)－駒の湯の道で溝呂木さんに黙禱
を捧げる－大湯温泉ユピオ(13:00－14:10)－関越道上里SAで食事後解散

5月3日(日)

13時に東京隊と横須賀隊が同時に出発。ゴールデンウィークのまん中で、関越道の込み具合を心配していたが、ほとんど渋滞はなく、順調に谷川PAで合流できた。

夕食はJR小出駅近くの食堂でとった。この駅に来たのは40年も前のことである。

駅周辺も小出の街も変貌したのは当然である。土産物屋で山菜を買ったことを思い出した。

駒の湯までの情報を得ようとしたがはっきりわからない。行ける所まで行くことにして出発。

途中のコンビニで朝食と飲物を購入し、大湯を通り、駒の湯へ行く林道もなんとか行かれた。

駒の湯へ分岐する橋の手前の駐車場前に幕営。気温も高く全然寒くない。

テントが大きく7人入っても快適である。ビールを軽く飲んでシュラフに入った。



右に行くと駒の湯



駒ヶ岳をバックに出発



吊り橋(スリルあり)

5月4日(月)

登山口は右側の吊り橋をすぐに渡るのだが、雪壁があり見落とし、少し道通しに行ってしまう戻った。天気予報は、午後から崩れるとのことであるが、なんとかもっている。吊橋を渡ると最初から急な登りが続く。2ピッチも登ると、今年は残雪が多いためか残雪がでてくる。気温が上がり暑くなり、シャツを脱ぎ半袖になる。枝折峠の道路が見え出すと、あのルートなら楽だろうと思ってしまう。途中から小雨が降り出してきた。早いうちに雨具を出す、大降りにはならなかった。



春山のポカポカ陽気の中で。



小倉山を望む。

小倉山を過ぎるころになると、疲れも出てくるが、新人もOBも頑張っている。

本峰も見えるようになり、最後の急登の長い雪面を登ると小屋出てほっとした。

テントサイトは、おろしやあおりを避け、小屋の下の雪を整地して、居住性のよい幕営地ができた。水もこんこんと流れて雪を解かさなくて済む。小屋のバイオのトイレもきれいでおわない。夜半に激しい雨と、強い風がふいた。杖代わりにポールを横にしてペグ代わりに埋め、ばっちり支点をとってあったので強い風が吹いても安心していた。

5月5日(火)

昨夜のうちに、前線が通過してしまったので天気はよい。頂上直下の雪面で雪上訓練をする女性の新人と先輩2人に見送られ、福澤、鈴木、河本、富岡の4名で中ノ岳往復に出発。朝は表面がクラストしていてアイゼンがよくきいた。20分弱で駒ヶ岳頂上に到着。



本峰から駒の小屋とテント(黄色)



駒ヶ岳頂上2003m

尾根通しに雪面を5分も下ると、中ノ岳に向かう分岐点にでる。急な夏道を20分ほど下ると雪面に出る。そこから雪面を利用して下り、天狗平の鞍部にでる。ここの道票では駒ヶ岳から中ノ岳まで5kmあり、1kmしか来ていない。それにしても雪面が多く注意しながら結構利用した。檜の廊下付近の夏道は微妙なバランスは必用としないが、アップダウンしながら結構ブッシュ帯が長い。ブッシュの中で荒沢岳から縦走してきた宇都宮と東京からきた2パーティに会った。



途中であった日本かもしか



檜の廊下と中ノ岳

中ノ岳に続く最後の雪面は長く、頂上かとだまされながら、避難小屋が見えた時はホッとした。小屋から10分弱で頂上に着いた。



中ノ岳頂上。八海山をバックに



中ノ岳避難小屋と駒ヶ岳

記念撮影と一休みをしてから、12時に駒ヶ岳に向かった。駒ヶ岳への最後の登りを終えて、小屋の見える稜線に出て、大和さんや石川さんが待っていてくれた姿が見えた時はうれしかった。ヤッチョのコールはホッとする。宇都宮のパーティは駒ヶ岳に3時間で着いてしまったらしいが、我々は5時間弱で駒の小屋に着いた。帰りのほうが少し楽であった。



無事にご帰還。行ってきたぞー。あったかいお茶飲みた——い。



新人の雪上トレーニング



駒ヶ岳頂上

何十年ぶりだろうか。横須賀山岳会の天幕に女性の笑い声がある。みんなたじたじにされるがやはり飯の炊き方はうまい。久しぶりに7名の参加者があり合宿らしい。

(男も女も横須賀山岳会に入ってこい。待っているぜ。)

5月6日(水)(快晴)

快晴の中、快い疲れに身を任せ、慎重に雪面を下る。日に焼け、豊富な残雪があり、花が咲き、計画も達成。短いけれど春山合宿を満喫。いつかまた強い横須賀山岳会になるだろう。長い長い駒の湯までの下り、つり橋を渡るとホッとす。駒の湯まで行き、溝呂木さんの追悼をして、大湯温泉のユピオで温泉につかり、上里SAで食事をして解散。



駒の小屋前で



春山の雪渓を下山中



小倉山から駒ヶ岳をバックに



たむしぼ(こぶし)が咲き乱れていた